

令和8年1月5日
国土交通大臣指定試験機関
一般財団法人全国建設研修センター

令和7年度2級管工事・電気通信工事・造園施工管理技術検定

「第一次検定・第二次検定(受検者の内、第一次検定)」、

「第一次検定(後期)」の合格者の発表について

令和7年11月16日(日)に実施した2級管工事・電気通信工事・造園施工管理技術検定「第一次検定・第二次検定」の内「第一次検定」の合格者、及び「第一次検定(後期)」の合格者が決定し、令和8年1月5日(月)に発表となりましたのでお知らせします。

当該技術検定は、建設業法第27条及び第27条の2の規定に基づいて、国土交通省から試験機関として指定を受けている一般財団法人全国建設研修センター(理事長 上田 洋平)が実施しています。

「第一次検定」の合格者は、それぞれ「2級管工事施工管理技士補」、「2級電気通信工事施工管理技士補」、「2級造園施工管理技士補」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から第一次検定合格証明書が交付されます。

受検種目	管工事	電気通信工事	造園
試験日	11月16日(日)		
試験地 「第一次検定・ 第二次検定」	全国13地区 (17会場)	全国14地区 (14会場)	全国13地区 (13会場)
試験地 「第一次検定 (後期)」	全国14地区 (18会場)	全国14地区 (14会場)	全国14地区 (14会場)
受検者数	9,409	1,920	2,439
合格者数	5,752	1,498	1,212
合格率	61.1%	78.0%	49.7%
合格基準 「第一次検定」	解答する 必須問題15問、 選択問25問の 合計40問 につき、 1問1点として その合計の 得点が60%以上 (24問以上 正解)を 合格とする。	解答する 必須問題14問、 選択問26問の 合計40問 につき、 1問1点として その合計の 得点が60%以上 (24問以上 正解)を 合格とする。	解答する 40問につき、 1問1点として その合計の 得点が57.5% 以上 (23問以上正解) を合格とする。

※詳細については別紙をご確認ください。

試験問題、正答番号については、一般財団法人全国建設研修センターのホームページにて
公表しています。公表期間: 令和7年11月17日(月)から1年間

【お問い合わせ先】

管工事: 042-300-6855

電気通信工事: 042-300-0205

造園: 042-300-6866

ホームページアドレス: <https://www.jctc.jp/>

● 別紙

2級管工事施工管理技術検定

管工事施工管理技術検定の「第一次検定」において、2級は平成28年度より学歴に関係なく17歳以上の者であれば受検が可能とし、1級は令和6年度より学歴に関係なく19歳以上の者であれば受検できるよう受検資格が改正された。(いずれも受検年度末時点の年齢)

当該検定を取り巻くこのような状況の下、昨年の11月16日に実施した2級「第一次検定・第二次検定」の内「第一次検定」及び「第一次検定(後期)」の受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

- ・9,409人が受検。令和6年度の9,413人よりも4人減少
- ・5,752人が合格、合格率は61.1%。令和6年度の6,131人よりも389人減少
- ・女性の合格者の割合は15.0%。令和6年度の13.2%よりも1.8%増加

なお、2級「第一次検定」の合格者は「2級管工事施工管理技士補」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から「第一次検定合格証明書」が交付され、所定の実務経験を有する者は「第二次検定」の受検が可能。

試験実施状況及び合格者数

試験地	第一次検定・第二次検定 (受検者の内、第一次検定)			第一次検定(後期)			合計		
	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)
札幌	217	129	59.4	193	106	54.9	410	235	57.3
青森	75	42	56.0	64	41	64.1	139	83	59.7
仙台	374	231	61.8	299	184	61.5	673	415	61.7
宇都宮	-	-	-	99	46	46.5	99	46	46.5
東京	1,552	959	61.8	1,606	987	61.5	3,158	1,946	61.6
新潟	133	72	54.1	131	70	53.4	264	142	53.8
金沢	185	107	57.8	120	78	65.0	305	185	60.7
名古屋	478	330	69.0	470	325	69.1	948	655	69.1
大阪	637	383	60.1	686	420	61.2	1,323	803	60.7
広島	240	168	70.0	211	125	59.2	451	293	65.0
高松	201	110	54.7	157	95	60.5	358	205	57.3
福岡	531	308	58.0	373	219	58.7	904	527	58.3
鹿児島	174	105	60.3	66	53	80.3	240	158	65.8
那覇	64	31	48.4	73	28	38.4	137	59	43.1
計	4,861	2,975	61.2	4,548	2,777	61.1	9,409	5,752	61.1

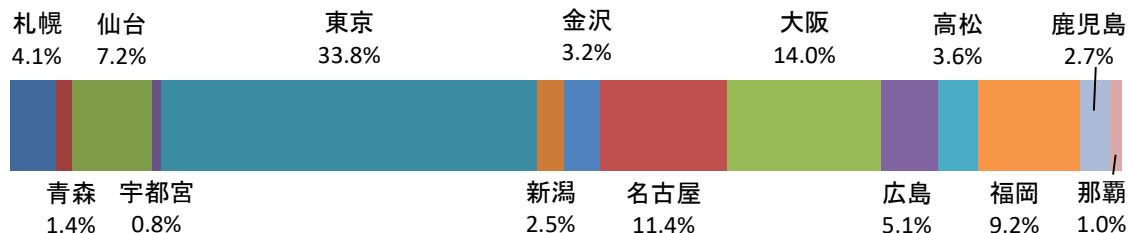
(参考 令和6年度)

計	5,499	3,544	64.4	3,914	2,587	66.1	9,413	6,131	65.1
---	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	------

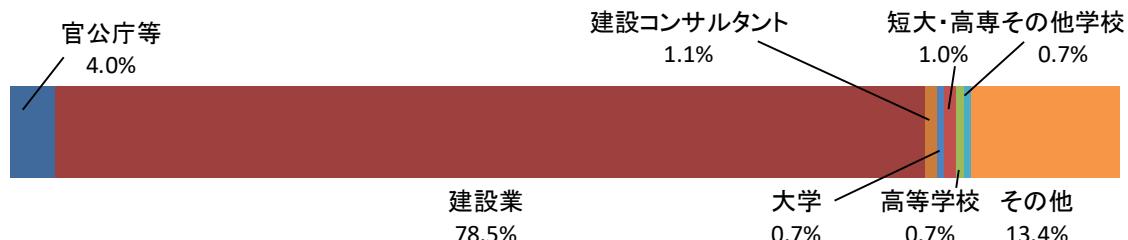
2級管工事施工管理技術検定

「第一次検定・第二次検定」の内、第一次検定合格者及び「第一次検定(後期)」合格者 属性
(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

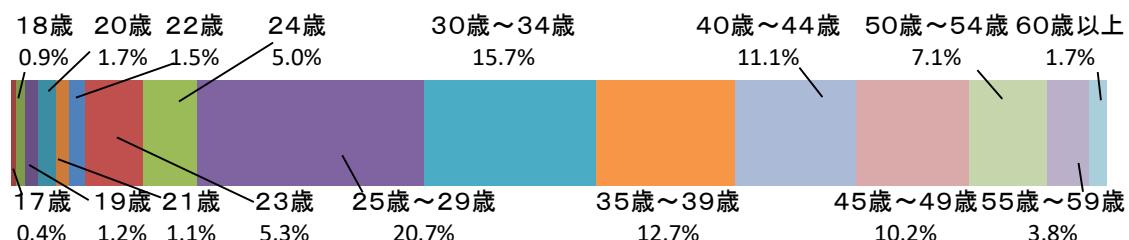
①試験地別



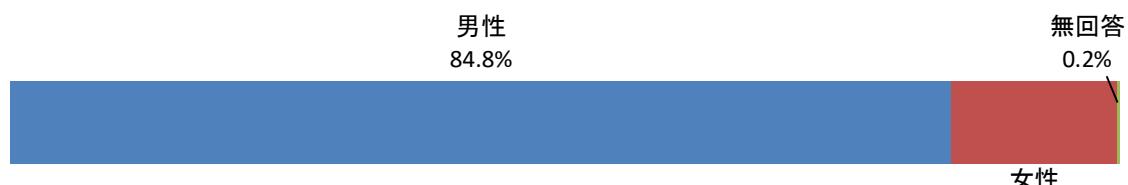
②学校又は勤務先別



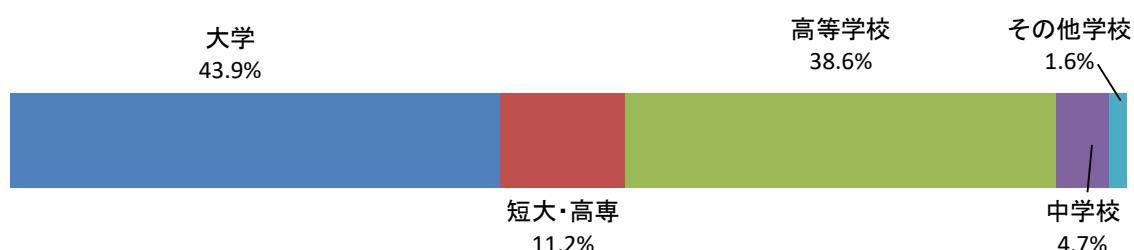
③年齢別



④男女別



⑤学歴別



2級電気通信工事施工管理技術検定

電気通信工事施工管理技術検定の「第一次検定」において、2級は令和元年度の検定初年度より学歴に関係なく17歳以上の者であれば受検が可能であり、1級は令和6年度より学歴に関係なく19歳以上の者であれば受検できるよう受検資格が改正された。(いずれも受検年度末時点の年齢)

当該検定を取り巻くこのような状況の下、昨年の11月16日に実施した2級「第一次検定・第二次検定」の内「第一次検定」及び「第一次検定(後期)」の受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

- ・1,920人が受検。令和6年度の2,169人よりも249人減少
- ・1,498人が合格。合格率は78.0%。令和6年度の1,488人よりも10人増加
- ・女性の合格者の割合は9.1%。令和6年度の7.3%よりも1.8%増加し過去最高となった

なお、2級「第一次検定」の合格者は「2級電気通信工事施工管理技士補」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から「第一次検定合格証明書」が交付され、所定の実務経験を有する者は「第二次検定」の受検が可能。

試験実施状況及び合格者数

試験地	第一次検定・第二次検定 (受検者の内、第一次検定)			第一次検定(後期)			合計		
	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)
札幌	41	30	73.2	42	32	76.2	83	62	74.7
青森	18	14	77.8	18	16	88.9	36	30	83.3
仙台	45	33	73.3	77	55	71.4	122	88	72.1
東京	266	203	76.3	457	365	79.9	723	568	78.6
新潟	23	20	87.0	19	12	63.2	42	32	76.2
金沢	23	18	78.3	22	16	72.7	45	34	75.6
静岡	13	12	92.3	11	11	100.0	24	23	95.8
名古屋	82	66	80.5	107	77	72.0	189	143	75.7
大阪	108	90	83.3	138	115	83.3	246	205	83.3
広島	33	26	78.8	39	32	82.1	72	58	80.6
高松	45	39	86.7	44	33	75.0	89	72	80.9
福岡	98	74	75.5	98	70	71.4	196	144	73.5
鹿児島	16	12	75.0	15	11	73.3	31	23	74.2
那覇	11	8	72.7	11	8	72.7	22	16	72.7
計	822	645	78.5	1,098	853	77.7	1,920	1,498	78.0

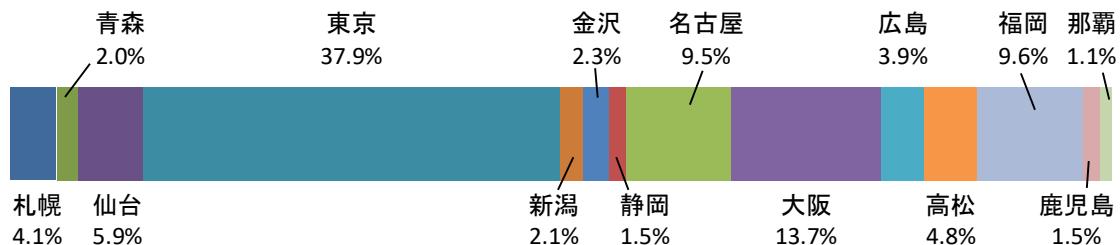
(参考 令和6年度)

計	1,030	712	69.1	1,139	776	68.1	2,169	1,488	68.6
---	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-------	------

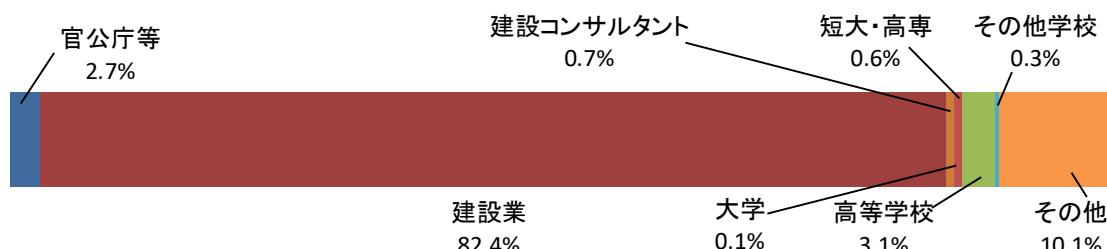
2級電気通信工事施工管理技術検定

「第一次検定・第二次検定」の内、第一次検定合格者及び「第一次検定(後期)」合格者 属性
(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

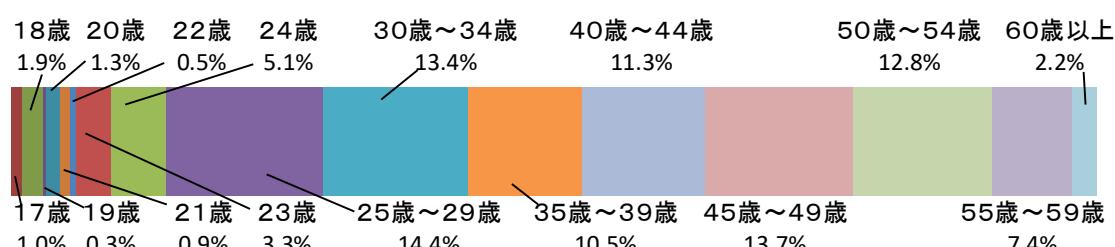
①試験地別



②学校又は勤務先別



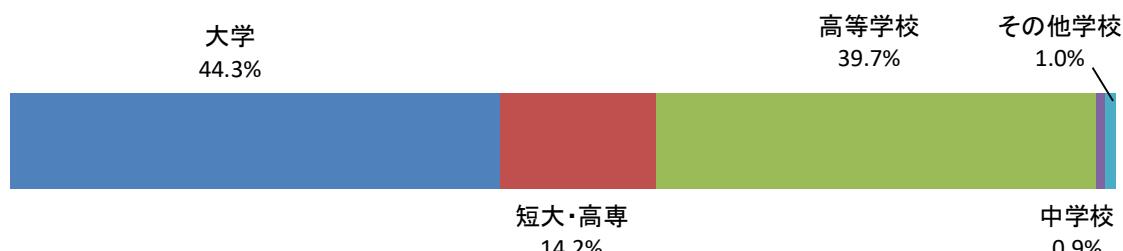
③年齢別



④男女別



⑤学歴別



2級造園施工管理技術検定

造園施工管理技術検定の「第一次検定」において、2級は平成28年度より学歴に関係なく17歳以上の者であれば受検可能とし、また、1級は令和6年度より学歴に関係なく19歳以上の者であれば受検できるよう受検資格を見直した。(いずれも受検年度末時点の年齢)

当該検定を取り巻くこのような状況の下、昨年の11月16日に実施した2級「第一次検定・第二次検定」の内「第一次検定」、及び「第一次検定(後期)」の受検者数と合格者数、合格率は下表のとおり。なお、合格基準は100点換算で得点が57.5点以上。(40問のうち23問以上)

- ・2,439人が受検。令和6年度の2,708人よりも269人減少
- ・1,212人が合格。合格率は49.7%。令和6年度の1,369人よりも157人減少
- ・女性の合格者の割合は21.2%。令和6年度の22.1%よりも0.9%減少した。

なお、今回の2級「第一次検定」の合格者は「2級造園施工管理技士補」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から「第一次検定合格証明書」が交付される。また、所定の実務経験を有する者は「第二次検定」の受検が可能。

試験実施状況及び合格者数

試験地	第一次検定・第二次検定 (受検者の内、第一次検定)			第一次検定(後期)			合計		
	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)	受検者 数	合格者 数	合格率 (%)
札幌	45	22	48.9	48	16	33.3	93	38	40.9
青森	21	6	28.6	26	12	46.2	47	18	38.3
仙台	71	32	45.1	55	24	43.6	126	56	44.4
宇都宮	-	-	-	22	8	36.4	22	8	36.4
東京	540	283	52.4	414	221	53.4	954	504	52.8
新潟	31	11	35.5	26	15	57.7	57	26	45.6
金沢	46	27	58.7	35	15	42.9	81	42	51.9
名古屋	116	61	52.6	109	56	51.4	225	117	52.0
大阪	199	100	50.3	167	88	52.7	366	188	51.4
広島	37	22	59.5	33	15	45.5	70	37	52.9
高松	44	22	50.0	35	12	34.3	79	34	43.0
福岡	121	55	45.5	107	48	44.9	228	103	45.2
鹿児島	31	11	35.5	20	13	65.0	51	24	47.1
那覇	19	4	21.1	21	13	61.9	40	17	42.5
計	1,321	656	49.7	1,118	556	49.7	2,439	1,212	49.7

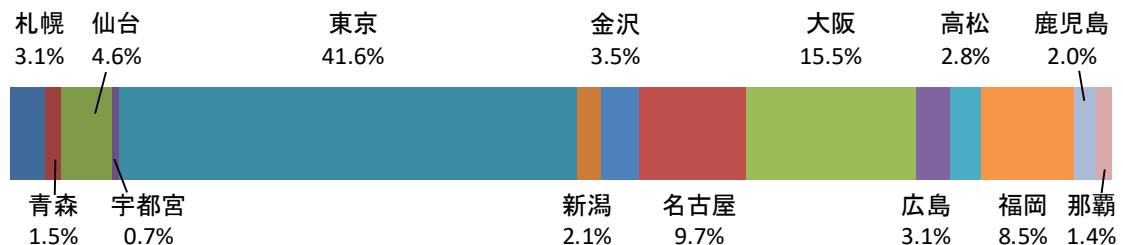
(参考 令和6年度)

計	1,633	858	52.5	1,075	511	47.5	2,708	1,369	50.6
---	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-------	------

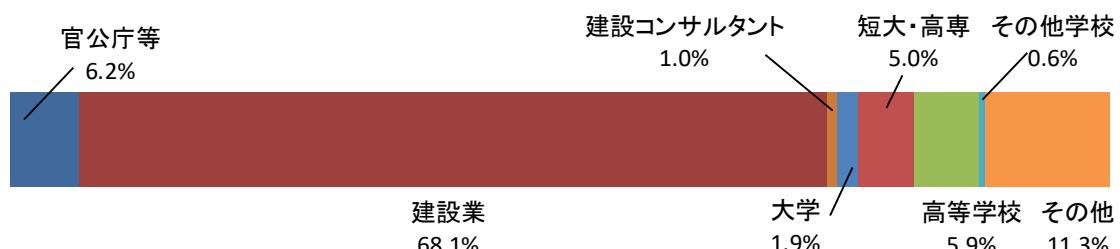
2級造園施工管理技術検定

「第一次検定・第二次検定」の内、第一次検定合格者及び「第一次検定(後期)」合格者 属性
(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

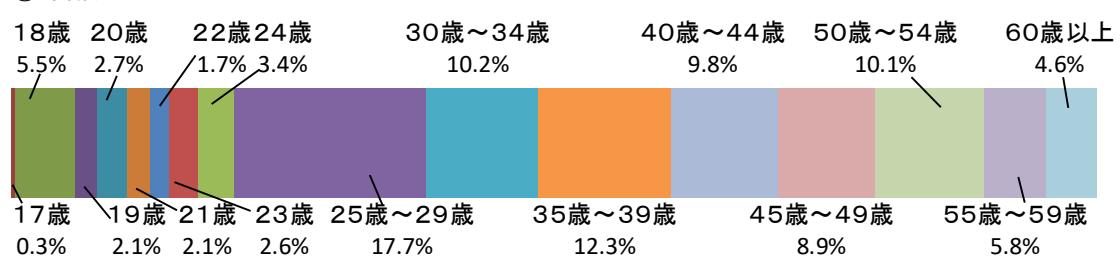
①試験地別



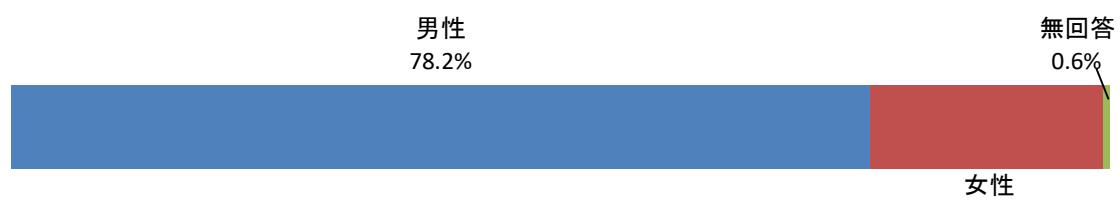
②学校又は勤務先別



③年齢別



④男女別



⑤学歴別

